

春・夏
号

伝統芸能

日本の祭り

広島県 庄原市
「塩原の大山供養田植」

さあ、出かけよう!!

胸が高鳴る…心が踊る…「日本の祭り」。
いにしえ
古より受け継がれ、歴史と文化に彩られた
日本の「伝統芸能」がここにある。

石川県 金沢市
「金沢百万石まつり」
写真提供:金沢市



岩手県 盛岡市
「チャグチャグ馬コ」

福島県 南相馬市
「相馬野馬追」

Copyright (C) The Executive Committee of SOMA NOMA'OI All Rights Reserved

この冊子の内容は右記のホームページからご覧になれます。地域伝統芸能活用センター <http://www.dentogei.no.or.jp>

この冊子は、**宝くじ**の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



日本の祭りには熱くもえたぎる「心」がある

伝統芸能には古より継承された「心」がある

地域伝統芸能受賞祭事を中心に選出しています

Copyright (C) The Executive Committee of SOMA NOMAOI All Rights Reserved

実施日 毎年7月最終土・日・月曜日
今年は7月27日(土)～29日(月)

北海道
札幌市

YOSAKOIソーラン祭り

実施日 毎年6月上旬
今年は6月5日(水)～9日(日)

提供:YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

5月／七尾市「青柏祭」

④ 6月／金沢市「金沢百万石まつり」 P4

⑦ 7月／白山市「白峰のかんこ踊」 P5

福島県
南相馬市

相馬野馬追

① 5月／庄原市「塩原の大山供養田植」 P3

⑩ 7月／福岡市「博多祇園山笠」 P6



① 熊本県 天草市
「牛深ハイヤ祭」

4月／天草市「牛深ハイヤ祭り」

⑧ 7月／郡上市「郡上おどり」 P5

7月／京都市「祇園祭」

5月／京都市「葵祭」

7月／大阪市「天神祭」

⑨ 毎月／徳島市「阿波人形浄瑠璃」 P5

② 6月／札幌市「YOSAKOIソーラン祭り」 P3

③ 6月／盛岡市「チャグチャグ馬コ」 P3

実施日 毎年7月(夏祭り)、10月(秋祭り)
今年は7月12日(金)～14日(日)
10月11日(金)～13日(日)

千葉県
香取市

佐原の大祭

⑤ 7月／南相馬市「相馬野馬追」 P4

5月／東京都「神田祭」

6月／東京都「山王まつり」

⑥ 7月・10月／香取市「佐原の大祭」 P4

目次 CONTENTS

● 日本各地の祭り・伝統芸能分布図	P1・P2
① 庄原市「塩原の大山供養田植」	P3
② 札幌市「YOSAKOIソーラン祭り」	P3
③ 盛岡市「チャグチャグ馬コ」	P3
④ 金沢市「金沢百万石まつり」	P4
⑤ 南相馬市「相馬野馬追」	P4
⑥ 香取市「佐原の大祭」	P4
⑦ 白山市「白峰のかんこ踊」	P5
⑧ 郡上市「郡上おどり」	P5
⑨ 徳島市「阿波人形浄瑠璃」	P5
⑩ 福岡市「博多祇園山笠」	P6
● 地域伝統芸能活用センターより	P6

広島県

庄原市

しお はら

だ い せん く よう た う え

塩原の大山供養田植

庄原市

岡山県

広島県

実施日

4年毎に現地公開
公開は平成26年5月の予定

太鼓や歌の囃子が響く、伝統的な田植

広島県の東部備北地域には伯耆大山信仰による供養田植が残っていますが、その中でも最も古い形を残しているのが「塩原の大山供養田植」です。

この田植は、大山小屋を作り神仏混漙の祭式によって牛馬の供養と安全を祈願する大山神社の信仰に基づくもので、春秋の祭りとは別に行うものです。

田植おどり、供養行事、代掻き、太鼓田植、お札納めの5つの行事が行われます。この形式はたいへん古く、中世以来行われていたと思われる姿をよく伝えていることなどから平成14年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

現在では4年毎に石神社で現地公開を行っており、地域あげての大規模な祭りとなっています。



アクセス

電車：JR芸備線「小奴可駅」下車
 車：中国自動車道「東城IC」

庄原市教育委員会

<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
 お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

北海道

札幌市

よ さ こ い

YOSAKOIソーラン祭り

札幌市

北海道

実施日

毎年6月上旬
今年は6月5日(水)～9日(日)

さまざまな踊りを楽しめる、熱気あふれる祭り

YOSAKOIソーラン祭りは、高知の「よさこい祭り」と北海道民謡・ソーラン節をミックスして1992年に誕生しました。よさこい祭りでも使用されている「鳴子」を手に持って踊ること、曲にソーラン節のフレーズを入れること以外は、ルールは自由。さまざまな曲や衣装、テーマで、踊り子達がオリジナリティあふれる演舞を披露します。全国、海外からも集まる踊り子達は約300チーム。開催期間中の5日間、祭り一色になる札幌の街を、踊りを披露しながら回ります。期間中は大量の観客も各地から訪れ、爽やかな初夏の札幌で、踊り子達のエネルギーあふれる演舞を楽しんでいます。

また、踊りを観る以外にも、全国各地の名物料理が味わえる「北のふーどパーク」や、観客も飛び入り参加で踊ることのできる「ワオドリスクエア」など、様々な楽しみ方をすることができます。



提供：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

アクセス

電車：札幌市営地下鉄「大通駅」下車

YOSAKOIソーラン祭り実行委員会

<http://www.yosakoi-soran.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
 お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

岩手県

盛岡市

う ま っ

チャグチャグ馬コ

秋田県

岩手県

盛岡市

実施日

毎年6月第2土曜日
今年は6月8日(土)

大小の鈴が奏でる響きと馬の歩みに癒される

家族と愛馬の無病息災を願う人々の祈りが込められているチャグチャグ馬コの行進は、色鮮やかな布で着飾った約100頭の馬たちが滝沢村の鬼越蒼前神社から盛岡市の盛岡八幡宮までの道のり約13キロを4時間ほどかけて練り歩きます。

端午の節句に農耕に疲れた愛馬を癒すために滝沢村の鬼越蒼前神社にお参りする風習が生まれ、幕末には馬に小荷駄装束を着せて詣でる人が現れました。これが今日の祭りの原型とされています。その首につるした鳴輪や装束にちりばめた大小の鈴が奏でる「チャグチャグ」という快い響きが名前の由来となったのは、今から約200年前とされています。また、昭和53年に「国・無形民俗文化財」に選定され、平成8年には、「残したい日本の音風景百選」に選ばれています。



アクセス

電車：JR東北新幹線「盛岡駅」下車
 車：東北自動車道「盛岡IC」

チャグチャグ馬コ保存会(盛岡市観光課内)

<http://www.odette.or.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



かな ざわ ひやく まん ごく

金沢百万石まつり



実施日

毎年6月第1土曜日とその前後の日
今年は5月31日(金)～6月2日(日)

加賀百万石 城下町金沢を彩る、時代絵巻行列は必見!

金沢百万石まつりは、加賀藩祖・前田利家公が天正11(1583)年金沢城に入城し、金沢の礎を築いた偉業を偲んで開催される祭りで、今年で62回を迎えます。大正12年から昭和20年まで金沢市祭として行われてきた奉祝行事がルーツで、終戦後は尾山神社奉賛会による「尾山まつり」と商店街が中心となった「商工まつり」が一つになり、昭和27年、第1回百万石まつりが開催され、現在に至ります。「百万石行列」は、メインイベントとして約4時間にわたって繰り広げられます。勇壮な前田利家入城行列を中心に一斉演技を交えながら金沢駅前から金沢城公園へと行進します。その他、約一万人が通りを埋め尽くして行なわれる「百万石踊り流し」、兼六園及び周辺のお茶席でお手間を披露する「百万石茶会」、幽玄な世界を創り出す「百万石薪能」など400年にわたり受け継がれてきた金沢ならではの伝統と文化を彩る豪華絢爛な一大ページェントです。



写真提供:金沢市

アクセス

電車: JR北陸本線「金沢駅」下車
車: 北陸自動車道「金沢西ICまたは金沢東IC」金沢百万石まつり実行委員会
<http://100mangoku.net/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



相馬野馬追



実施日

毎年7月最終土・日・月曜日
今年は7月27日(土)～29日(月)

一千有余年の歴史を経た、圧巻の祭り

相馬野馬追は、7月の最終土・日・月曜日に福島県南相馬市・相馬市を中心に開催され、国の重要無形民俗文化財に指定される伝統馬事文化です。

相馬氏の祖「平小次郎将門」が一千有余年もの昔、新しい軍事力として馬の活用を考え、下総国葛飾郡小金ヶ原(現在の千葉県流山市付近)の牧に野生の馬を放牧し、敵兵に見立てた馬を捕らえ、妙見に奉納したことが始まりとされています。その後、相馬氏が奥州行方郡(現在の南相馬市)に移り住んだ後も、代々の相馬領主によって絶えず執り行われてきました。

現在では、三社(相馬中村神社・相馬太田神社・相馬小高神社)の祭礼として、相馬家当主を総大将に約500騎の騎馬武者が先祖伝来の甲冑に身を固め、勇壮華麗かつ豪華絢爛に戦国絵巻を繰り広げています。



Copyright (C) The Executive Committee of SOMA NOMAOI All Rights Reserved

アクセス

電車: JR常磐線「原ノ町駅」下車
車: 東北自動車道「二本松IC」相馬野馬追執行委員会
<http://www6.ocn.ne.jp/~nomaoui/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



佐原の大祭



実施日

毎年7月(夏祭り)、10月(秋祭り)
今年は7月12日(金)～14日(日)
10月11日(金)～13日(日)

江戸の情緒を感じる、関東三大山車祭り

小江戸佐原の一大イベント「佐原の大祭」夏祭りと秋祭りは、関東三大山車祭りの一つと称され、約300年の伝統を有し、平成16年に「佐原の山車行事」は国の重要無形民俗文化財に指定されています。日本三大囃子「佐原囃子」の音を町中に響かせながら、小江戸と呼ばれる町並み(国選定重要伝統的建造物群保存地区)の中を家々の軒先をかすめながら進むさまは風情たっぷり、江戸時代の情景を彷彿とさせます。

自慢の山車は、総櫓造りの本体に関東彫りの重厚な彫刻が飾り付けられ、上部には江戸・明治期の名人人形師によって制作された高さ4mにも及ぶ大人形などが乗ります。八坂神社祇園祭である7月の夏祭りは、小野川をはさんで東側一帯(本宿地区)を10台の山車が曳き廻され、諏訪神社秋祭りである10月の秋祭りは、小野川の西側一帯(新宿地区)を14台の山車が曳き廻されます。



アクセス

電車: JR成田線「佐原駅」下車
車: 東関東自動車道「佐原香取IC」香取市商工観光課
<http://www.city.katori.lg.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



白峰のかんこ踊



実施日

毎年7月
今年は7月20日(土)・21日(日)の予定

地方的特色の豊かな伝統の踊

荘厳、白山の気高さを感じさせる白山山麓の白峰地区に伝わる古い踊りです。起源は、養老年元(717年)6月18日、泰澄大師の白山開山を迎えにいった地元の人々が、彼の帰還をよここんで、カンコ(蚊遣火)をふり踊りまわったという伝承が残されています。

踊り方には庭踊り・座敷踊りがあり、庭踊りは盆や祭りに、座敷踊りは祝宴などに踊られます。服装は、盆踊りなどには浴衣姿で大勢が輪になって右手に手ぬぐいを持って踊る。保存会が正式に踊る時は神主・神子(みこ)姿または野良着姿で踊ります。

踊りの輪にカンコが加わり、美しい歌詞、かん高いカンコの響き、囃子詞(はやしことば)が相まって、観衆を魅了します。

毎年7月、白山まつりで披露される踊をぜひご覧下さい。



アクセス

電車：JR西日本「金沢駅」下車
車：北陸自動車道「金沢西ICまたは福井北IC」

うらら白山人(白山市観光課)

<http://www.urara-hakusanbito.com/festival/view/623>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



郡上おどり



実施日

毎年7月中旬～9月上旬
今年は7月13日(土)～9月7日(土)

日本一ロングランな盆踊り!

郡上おどりは、城下町・郡上八幡で唄い踊り続けられてきた400年以上の歴史を持つ伝統芸能で、日本を代表する民踊のひとつです。平成8年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

ひとたび踊りの輪に加われば、誰でも簡単に踊れる振り付けが特徴で、道路や辻の広場に屋形を移動させ、その周りを地元の人も観光客も一緒になって幾重もの輪をつくり踊ります。

期間は、7月の中旬から9月上旬の約2カ月の間に延べ30数夜開催されます。会場は一晚に一か所ずつ、各町内の縁日祭りにちなんで行われ、ひと夏で市街地を一巡します。特に庄巻はお盆に行われる徹夜おどり。旧盆の8月13日から16日の4日間、数万の踊り子が夜を徹して踊り明かし、お囃子と下駄の音が重なり、情緒豊かに山あいにごだまします。



アクセス

電車：長良川鉄道「郡上八幡駅」下車
車：東海北陸自動車道「郡上八幡IC」

郡上八幡観光協会

<http://www.gujohachiman.com/kanko/>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



阿波人形浄瑠璃



実施日

年間通して毎日
阿波十兵衛屋敷にて公演

国指定重要無形民俗文化財の伝統芸能

阿波人形浄瑠璃は約400年前から徳島に伝わる郷土芸能で、義太夫節の浄瑠璃と太棹の三味線、三人遣いの人形の三業により演じられる人形芝居です。昔は上演する舞台が約200棟あり、村祭の際に舞台を開け、屋外で上演しましたので、人形は大きく、人形遣いも観客に良く分かるように大胆に遣いました。現在も約10棟の農村舞台が残っており、犬飼農村舞台(徳島県徳島市八多町)では毎年11月3日に上演をしています。また徳島では阿波木偶作家協会に多くの人形師がおり、新作の人形制作や修理をすることができます。

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷では、阿波人形浄瑠璃の魅力を県内外の方に発信するため、毎日、定期上演をしています。また、年に数回のイベントを行い、郷土芸能の伝承や情報発信の拠点としての役目を担っています。



アクセス

電車：JR四国「徳島駅」下車
車：神戸淡路鳴門自動車道「鳴門IC」

徳島県立阿波十兵衛屋敷

<http://joruri.info/jurobe/>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



博多祇園山笠



実施日

毎年7月1日～15日
今年は7月1日(月)～15日(月)

博多の街を駆け抜ける昇山笠は圧巻!

博多祇園山笠は、1241年に承天寺の開祖・聖一国師(しょういちこくし)が、疾病除去のために施餓鬼棚(せがきだな)に乗って祈祷水をまいたのが始まりとされ、770年以上の伝統と格式を誇る博多の総鎮守・櫛田神社の奉納神事です。親から子、子から孫へ代々受け継がれ、研ぎ澄まされたものだけを残し、時代に即した形として淘汰され今日まで伝承されており、1979年には国指定重要無形民俗文化財に指定されました。

毎年7月1日になると、高さ10mを超す絢爛豪華な飾山笠(かざりやま)が市内14ヶ所に建ち並び、博多の街は山笠一色に活気づきます。最高潮を迎えるのは15日の午前4時59分。真夜中に集まった観客に見守られ、大太鼓の合図と共に重さ約1トンの勇壮豪快な昇き山(かきやま)が男たちに担がれ、博多の街を全力で駆け抜けます。



アクセス

電車：JR西日本「博多駅」下車
車：福岡都市高速道路「呉服町IC」

博多祇園山笠振興会

<http://www.hakatayamakasa.com/index.php>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

地域伝統芸能活用センターよりご案内

平成25年度の地域伝統芸能表彰団体が 下記の通り決定いたしました

(財)地域伝統芸能活用センターでは毎年、地域伝統芸能等に関わる団体・個人を対象に、「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」、「地域伝統芸能大賞」、「地域伝統芸能奨励賞」を選定し、顕彰する事業を行なっています。

「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」

地域伝統芸能の保存と継承に寄せられた高円宮殿下の御遺徳を後の世に永く伝えるために平成15年度に創設された賞で、特に地域伝統芸能の保存、継承及び活用に抜きんでた功績の認められる団体や個人に対して授与される賞です。

「地域伝統芸能大賞」

地域伝統芸能の活用を通じ、観光又は商工業の振興に顕著な貢献が認められる団体や個人を表彰する賞で保存継承賞、活用賞、支援賞、地域振興賞の4部門があります。

「地域伝統芸能奨励賞」

地域に伝わる伝統芸能の技の継承のために日頃から地道な努力と研鑽を重ねている将来有望な新人等を発掘し、激励することを目的にした賞です。

高円宮殿下記念 地域伝統芸能賞

ご じん じょ
御陣乗太鼓保存会
(石川県輪島市名舟町 御陣乗太鼓)



提供：石川県観光連盟

地域伝統芸能大賞

保存継承賞

お かつ ほう いん かぐら
**雄勝法印神楽
保存会**

(宮城県石巻市雄勝町 神楽) (石川県白山市 白峰のかんこ踊) (秋田県男鹿市 ナマハゲ面の影師) (福井県勝山市 左義長ばやし)



活用賞

おどり
かんこ踊保存会



支援賞

せんしゅう
石川 千秋



地域振興賞

かつ やま さ ぎょ ちよう
**勝山左義長まつり
実行委員会**



地域伝統芸能奨励賞

かわ ばた
川畑 さおり

(鹿児島県大島郡喜界町 奄美島唄)



宝くじは、
地方自治体の公共事業等に
幅広く使われています。

ワクワク、
ドキドキ。



宝くじの収益金は、
病院や検診車、図書館や動物園、
災害に強い街づくり、
緑あふれる公園、美術館など、
皆様の暮らしに役立てられています。